

令和5年12月4日

各位

九州大学 大学院農学研究院 生命機能分子科学部門
生物機能分子化学講座 農業薬剤化学分野 助教候補者選考委員会
委員長 松岡 健

九州大学 大学院農学研究院 生命機能分子科学部門
生物機能分子化学講座 農業薬剤化学分野
助教候補者の推薦について（依頼）

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本選考委員会は下記のとおり農学研究院 生命機能分子科学部門 生物機能分子化学講座 農業薬剤化学分野 助教候補者を公募することになりました。つきましては、適任者をご推薦くださいますよう、お願い申し上げます。

敬具

記

1. 職・人数

助教（テニュアトラック）・1名

2. 所属・専門分野

今回採用する助教（テニュアトラック）は、大学院農学研究院 生命機能科学部門 生物機能分子化学講座に所属し、大学院生物資源環境科学府・生命機能科学専攻・生物機能分子化学教育コース、および農学部・応用生物科学コース・応用生命化学分野担当教員となります。

当該講座においては、農学・生命科学の分子的基盤である複雑な生命現象の発現と調節に係る機能素子の作用機序の解明、機能素子間の相互作用解析とその応用を目指した研究を推進しています。また、大学院教育コースでは、生命現象を分子レベルで理解し、人類に役立てる活動を推進しうる人材を組織的に養成しています。

これらの構想の実現のために、農業薬剤化学分野では、農業薬剤・医薬品の開発と利用を目的として、効率的な有機化学反応と有機合成方法論を開発し、新規な分子骨格を有する生物活性物質群を創生する研究とそれに関連する教育を実施しています。採用予定の助教（テニュアトラック）は、化学的視点から農学生命科学の教育研究に携わると共に、農業薬剤・医薬品の開発と利用に関する専門的な視点から以下の先端的な教育研究を重点的に展開することが求められます。当該選考では、

- 1) 農業薬剤・医薬品のための生物活性物質の分子設計法ならびに有機合成化学に基づく有用物質の供給法を創生する先端的な有機化学研究
- 2) ペプチド、オリゴ核酸、多糖および二次代謝産物等の自然界由来化合物の高度利用のための化学的研究
- 3) 環境ストレス応答を制御する農業薬剤・医薬品の開発と利用に関わる異分野融合的な研究

を推進するために、有機化学分野における専門的な知識と研究業績を有し、先進的な研究を推進できる方を求めています。

3. 採用予定時期

農学研究院教授会承認後で令和6年4月1日以降の可能な限り早い時期

4. 応募資格

博士の学位を有し（着任時までに学位取得予定を含む）、熱意をもって研究教育活動に取り組む方

5. テニユアトラック期間およびテニユア審査

本職のテニユアトラック期間は、採用日から令和11年3月31日までとなります。採用の3年後に中間評価を行います。また、テニユアトラック期間終了前に行う最終審査において農学研究院助教にふさわしいと判断された場合は、上記期間終了後に承継教員助教（任期なし）となります。さらに卓越した成果・業績をあげた場合は、准教授への昇任を検討します。なお、テニユアトラック期間においては、研究エフォート80%が保証されます。研究費および環境整備費の配分制度があります。

6. 担当授業科目

(1) 大学院

・大学院修士課程

(生命機能科学専攻生物機能分子化学教育コース)

生物機能分子化学プロジェクト演習等、必要に応じて担当します。

(国際コース)

必要に応じて担当します。

(2) 学部

(応用生物科学コース応用生命化学分野)

卒業研究等、必要に応じて担当します。

(国際コース)

必要に応じて担当します。

(担当可能な基幹教育科目)

必要に応じて担当します。

なお、英語による授業および研究指導も担当していただきます。

7. 提出書類（書類の（1）と（2）は下記 URL の様式を用いて作成願います。）

(<https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/template>)

(1) 略歴書

(2) 業績目録（新しい順に記載）

I 原著論文：著者名（本人の氏名にアンダーライン、また責任著者に*を記すこと）、題名、掲載雑誌名、巻、頁、発行年、最新のIF（JCR）と被引用数（Google scholar）を（i）

査読付き雑誌、(ii) 査読なし雑誌、(iii) その他、で区分して記載すること。

II 著書：著者名、題名、発行所、発行年

III 総説・解説等：著者名、題名、掲載雑誌名、巻、頁、発行年

IV 特許：発明者名、発明の名称、特許番号もしくは特許出願番号、特許登録もしくは特許出願年月

V 学会等での受賞：受賞者名、賞の名称、受賞内容、学会等名、受賞年月

VI 国内・国際学会発表（本人が発表したものに限る）講演者名、講演題目、講演学会名、講演年月、開催場所

VII 外部資金の導入実績：科研費、受託研究、企業との共同研究費、その他に分類した上で、名称、研究課題名、期間、金額（本人への配分額）、代表・分担の別

VIII 教育・社会貢献等の実績：TA・RA、担当授業科目等

IX その他：資格等

(3) これまでの研究の概要と今後の研究に関する抱負（1,500字程度）

(4) 今後の教育に関する抱負（1,000字程度）

（教育実績がある場合は記載してもよい）

(5) 推薦者に関する情報

応募者の教育・研究などについて問い合わせのできる方2名の氏名、応募者との関係、および連絡先（メールアドレスを含む）

(6) 主要論文3編以内の電子ファイル

提出書類(1)から(5)のWord形式の電子ファイル、および(1)から(6)のPDF形式の電子ファイルをzip形式でまとめてください。また、提出されるファイル名には氏名を明記願います。

8. 面接等

審査の過程でプレゼンテーションおよび面接を行うことがあります。その際の旅費・滞在費は応募者の自己負担と致します。また、オンライン面接による選考を行う場合があります。

9. 勤務地

九州大学伊都キャンパスウエスト5号館（福岡市西区元岡744番地）

10. 応募の事前登録と提出書類のアップロード方法

(1) 事前登録：下記の書類提出に関する連絡先（事務局）*に、応募する旨のメールを令和6年1月25日（木）の17:00（日本標準時）までに送信してください（メールのタイトルを“九州大学農業薬剤化学分野助教応募－応募者氏名”としてください）。提出書類のアップロード先（九州大学ファイル共有システム Proself）のURLを返信します。

(2) 提出書類のアップロード方法：返信メール内のリンクを開き、ファイルをドラッグ&ドロップし、アップロードをクリックすると、提出となります。Proselfには、提出書類を提出締切日までにアップロードしてください。アップロード後は、提出した旨を事務局宛にメールで連絡してください。提出ファイルの受け取りの確認をメールでご連絡します。

(3) 事前登録締切日：令和6年1月25日（木）17:00（日本標準時）

提出書類アップロード締切日：令和6年1月31日（水）17:00（日本標準時）

*書類提出に関する連絡先（事務局）

九州大学 大学院農学研究院 生命機能分子科学部門 生物機能分子化学講座 農業薬剤化学分野 助教候補者選考委員会事務局：saiyou_r6@agr.kyushu-u.ac.jp

1 1. 公募に関する問い合わせ先

農業薬剤化学分野助教候補者選考委員会

委員長 松岡 健

電話：092-802-4713

E-mail: kenmat@agr.kyushu-u.ac.jp

1 2. 労働条件等について

- (1) 業務内容：九州大学大学院農学研究院における教育・研究
- (2) 雇用期間：テニュアトラック期間 採用日から令和11年3月31日
- (3) 試用期間：試用期間あり（3か月）
- (4) 就業場所：九州大学大学院農学研究院（福岡市西区元岡744）
- (5) 就業時間、休憩時間、時間外労働：
専門業務型裁量労働制により7時間45分働いたものとみなされます
- (6) 休日：土、日、祝日、12/29～1/3
- (7) 賃金：年俸制（令和2年4月1日導入の年俸制）
なお、年俸額については経験等に基づき本学の関係規程により決定します
- (8) 加入保険：雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金
- (9) 募集者の氏名又は名称：九州大学大学院農学研究院

1 3. その他

- (1) 「テニュア審査における評価基準」および「卓越した成果・業績をあげた場合の准教授への昇任基準」に関しては、上記「1 1. 公募に関する問い合わせ先」にお問い合わせください。
- (2) 九州大学では、男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）の精神に則り、教員の選考を行います。
- (3) 九州大学では「障害者基本法（昭和45年法律第84号）」、障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和35年法律第123号）」および「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号）」の趣旨に則り、教員の選考を行います。
- (4) 九州大学では、平成29年7月より配偶者帯同雇用制度を導入しています。
- (5) 過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分等を受けた場合には、処分内容及びその具体的な事由を履歴書等に必ず記載願います。虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となることがあります。
- (6) 本研究院、学府、学部等の教育研究概要等は、ホームページを参照してください。
(<https://www.agr.kyushu-u.ac.jp>)
- (7) 送付されたデータは選考以外の目的には使用しません。選考終了後に送付されたデータ

は削除します。

- (8) 給与等についての規定および労働条件、その他勤務に関する詳細についての問い合わせ先：

国立大学法人九州大学職員給与規定：

(<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/>

[university/information/rule/rulebook/pdf/2635/1/2004syuki014.pdf](https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/information/rule/rulebook/pdf/2635/1/2004syuki014.pdf))

国立大学法人九州大学年俸制給与（教育職基本年俸）の適用に関する細則：

(<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/>

[university/information/rule/rulebook/pdf/2707/1/2019syuki042.pdf](https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/information/rule/rulebook/pdf/2707/1/2019syuki042.pdf))

問い合わせ先：九州大学農学部等総務課庶務係 電話: 092-802-4505

Recruitment of Assistant Professor
Faculty of Agriculture, Kyushu University

Outline:

Kyushu University is seeking an experienced individual with expertise in research and teaching for appointment as an Assistant Professor (tenure track) in the Laboratory of Pesticide Chemistry, Division of Molecular Biosciences, Department of Bioscience and Biotechnology, Faculty of Agriculture.

The Division of Molecular Biosciences conducts research on functional molecular chemistry and the applied biological sciences related to the elucidation of the mechanisms of biologically active compounds and the expression and regulation of diverse biological phenomena. On these molecular basis of agriculture and life sciences, the Division systematically conducts applied research to promote social implementation.

The Division also conducts the education of undergraduate and graduate students to systematically train them so that students understand biological phenomena at the molecular level and promote activities by using their knowledge for the well-being of humans.

In this context, education and research in the Laboratory of Pesticide Chemistry are directed toward "the development of biologically active compounds for agrochemicals and pharmaceuticals using judicious molecular design, novel synthetic chemical reactions, and synthetic methodologies."

We intend to hire an Assistant Professor who will focus on developing education and research in:

- 1) Advanced organic chemistry research to create biologically active compounds for agrochemicals and pharmaceuticals, conducted on the basis of judicious molecular design, novel synthetic chemical reactions, and synthetic methodologies;
- 2) Chemical research to develop novel functions of naturally occurring compounds such as peptides, nucleic acids, polysaccharides, and secondary metabolites of small molecules;
- 3) Collaborative and interdisciplinary research on the development of agrochemicals and pharmaceuticals that control environmental stress responses associated with climate change, allergic substances, infection, and aging, and their utilization in social applications.

1. Number of Positions Offered:

One Assistant Professor (tenure track)

2. Institution:

Position affiliation:

Laboratory of Pesticide Chemistry, Division of Molecular Biosciences, Department of Bioscience and Biotechnology, Faculty of Agriculture.

The appointee will join the teaching staff of the Program of Applied Biosciences in the School of Agriculture and the Molecular Biosciences course in the Graduate School of Bioresource and Bioenvironmental Sciences.

3. Date of Appointment:

April 1st, 2024 or later.

4. Qualifications:

- (1) Ph.D. degree.
- (2) Able to work with enthusiasm for education and research guiding both undergraduate and graduate students.

5. Tenure-Track Period and Examinations:

This tenure-track position is for a maximum five-year appointment (from the date of appointment until March 31, 2029) with mid-term (3rd year) and final (5th year) examinations according to the specified criteria. The successful candidate who fulfills the criteria will be employed as a permanent Assistant Professor. If outstanding results are achieved, promotion to a permanent Associate Professor will be considered. During the tenure-track period, more than 80% of time can be used for research. Annual research and start-up expenses will be allocated.

6. Educational Duties:

The successful candidate will be expected to teach the following subjects and supervise research activities at both the undergraduate and graduate levels using Japanese, with some of the teaching and supervision also done in English.

(1) Graduate School of Bioresources and Bioenvironmental Sciences

Master's Course (Molecular Biosciences Course)

Project Research in Molecular Biosciences, Master's Thesis Research in Molecular Biosciences, etc. In charge as necessary.

(International Course)

In charge as necessary.

(2) Undergraduate School

(Program of Applied Biosciences in the School of Agriculture)

Scientific English, Graduation Thesis Research in Agricultural Chemistry, etc. In charge as necessary.

(Kikan Education)

In charge as necessary.

The ability to conduct class teaching and research guidance in Japanese is essential.

7. Required Documentation (provide all documents either in Japanese or English)

Please use the template found in the following link for the documents (1) and (2).
(<https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/template>)

(1) Curriculum Vitae

(2) List of Research Achievements

I. Original Papers: Name of Authors, Title, Journal Name, Volume, Pages, Published Year, doi code, IF (JCR), and Number of Citations (Google scholar)

(Applicant name should be underlined, and indicated (*) for a corresponding author)

(i) Peer-Reviewed Papers

(ii) Non-Peer-Reviewed Papers

(iii) Others

II. Books: Name of Authors, Title, Name of Publisher, Pages, Published Year

III. Review Papers: Name of Authors, Title, Journal Name, Volume, Pages, Published Year

IV. Patents

V. List of Presentations at Conferences: Name of Authors, Title, Conference Name, Year and Month (Distinguish between presentations as first author and others)

VI. Academic Awards

VII. List of Public and Private Research Grants Awarded: Name of Grant (Research Category, Period, Total amount for the entire period),

VIII. Educational Experiences and Philanthropic Activity

IX. Others

(3) Summary of your research activities and future research plans (approx. 750 words: Be sure to include your vision of how related with your previous research and how will be engaged in your

new position)

- (4) Summary of your aspirations for education in the future (approx. 500 words)
- (5) The names of two referees for your research activities and educational experience, together with their relationship to you and their contact information (E-mail address)
- (6) PDF format file of up to three of your most important publications

7. Documents to be submitted

Combine the Word files (1) and (5), and the PDF files (1) to (6) in a single zip format archive file. Please include your name in the submitted file name.

8. Interview:

Short-listed candidates may be invited for an interview held at Ito Campus or via a remote conference system. We do not support any expenses incurred to participate in the interview, such as for travel or accommodation.

9. Employment Location:

Ito Campus, Kyushu University (Motooka 744, Nishi-ku, Fukuoka 819-0395, Japan)

10. How to Pre-register and Upload the Application Documents:

- (1) Pre-registration: Please send an e-mail to the Administration Office* to pre-register by January 25, 2024, at 17:00 (Japan Standard Time: JST) (Please write "Kyushu University Pesticide Chemistry Assistant Professor Application-your name" in the subject line of the e-mail). The reply e-mail from the Administration Office will include the URL of "Proself (file sharing system of Kyushu University)" for uploading the application documents.
- (2) Uploading application documents: Open the URL link in the reply e-mail, drag and drop the application documents, and click "Upload" to submit the documents to the Administration Office. Upload the electronic files to Proself by the submission deadline. After uploading the files, please send an e-mail to the administration office. The administration office will then send a message confirming the receipt of the submitted files from you.
- (3) Pre-registration Deadline: Complete pre-registration by January 25, 2024, at 17:00 (JST). Uploading deadline: Complete uploading all application files by January 31, 2024, at 17:00 (JST).

* For inquiries regarding submission:

Administration Office of the Selection Committee for Assistant Professor Candidates, Laboratory of Pesticide Chemistry, Faculty of Agriculture, Kyushu University
E-mail : saiyou_r6@agr.kyushu-u.ac.jp

11. Contact on recruitment

Prof. Ken Matsuoka

Head, Selection Committee for Assistant Professor Candidates of Laboratory of Pesticide Chemistry, Division of Molecular Biosciences, Department of Bioscience and Biotechnology, Faculty of Agriculture, Kyushu University,

744 Motooka, Nishi-ku, Fukuoka 819-0395, JAPAN

E-mail: kenmat@agr.kyushu-u.ac.jp

12. Conditions of employment

- (1) Salary and Benefits

Appointment level to be commensurate with qualifications and experience. Salary and benefits are specified in the Kyushu University regulations. For further information, visit the following university website (in Japanese) or apply to the General Affairs Section, Faculty of Agriculture:

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/information/rule/rulebook/pdf/2707/1/2019syuki042.pdf>

General Affairs Section, Faculty of Agriculture (E-mail: nossyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp)

- (3) Probationary period: A three-month probationary period.
- (4) Place of employment: Faculty of Agriculture, Kyushu University Ito campus (744 Motooka, Nishi-ku, Fukuoka, JAPAN).
- (5) Working hours, Break time, Overtime: Based on Discretionary Labor System for professional work.
- (6) Days off: Every Saturday and Sunday, national holidays, and New Year's holidays from December 29-January 3 in addition to an annual leave entitlement.
- (7) Social Insurance
Employee shall enroll in: Employment insurance, Compensation Insurance, Health Insurance, Employees' pension insurance.

13. Additional Information:

- (1) For more information about the criteria for the mid-term (3rd year) and final (5th year) examinations of the tenure-track position, and the criteria for the promotion to a permanent Associate Professor, please contact Professor Ken Matsuoka the Head of the Selection Committee, by e-mail.
- (2) Kyushu University is an equal opportunity employer and follows the principles of the Basic Act for the Disabled Persons (Act. No.84 of 1970, revised in 2004 and 2011), Basic Act for Gender Equal Society (Act. No.78 of 1999), Act on Employment Promotion etc. of Persons with Disabilities (Act No. 123 of 1960, revised in 2013), and the Act on the Elimination of Discrimination against Persons with Disabilities (Act No. 65 of 2013).
- (3) Kyushu University deployed the System of Employment of Faculty Members with Accompanying Spouse (July 2017 and amended January 2018). For further information, visit the following university website (in Japanese), which links to Kyushu University Guidelines for this system (in English): <https://danjyo.kyushu-u.ac.jp/notice/view.php?cId=2600&>
- (4) For more information about the Faculty of Agriculture, please visit our website. (<https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/>).
- (5) Personal information included in the submitted documents will not be used for purposes other than screening.
- (6) If you have been disciplined in the past for sexual violence, including sexual harassment, against students, please be sure to enter the nature of the disciplinary action and the specific reasons for it in your resume or other documents. False statements may result in cancellation of employment or disciplinary action.